

新座都市計画道路3・4・1 保谷朝霞線 説明会開催結果について

- 1 開催日 平成29年11月19日（日）10：30～11：45
14：30～15：40
平成29年11月21日（火）19：00～20：05
- 2 場所 新座市立八石小学校 体育館
新座市立陣屋小学校 体育館
- 3 対象者 道路に関係する土地に係る自治会及び遠方にお住まいの方
- 4 内容
 - ・ 路線概要
 - ・ これまでの経緯及び保谷朝霞線の必要性
 - ・ 各種検討概要
 - ・ 整備方針
 - ・ 今後のスケジュール

5 主な質疑応答

【道路計画・交通量に関すること】

- Q：自動車保有者が年々減る中、本当にこの道路は27m・4車線での整備が必要なのか。今後、将来交通量は本当に増えるのか。
- A：最新の道路交通センサスに基づくデータにより、将来の交通量を推計している。その結果、4車線が必要な交通量が見込まれるため、保谷朝霞線は4車線整備する必要がある。
- Q：いつまでにこの道路を完成させるのか。
- A：完成時期は現時点で明言することはできないが、できる限り早く事業に着手できるよう努める。
- Q：道路の計画線はいつ頃決定するのか。
- A：都市計画変更の際して決定していくことになる。産業道路以北はおおむね3～6年後を目標としている。
- Q：保谷朝霞線がつながる東京都、神奈川県の道路整備の進捗状況を教えてほしい。
- A：暫定を含め、全て供用済みであると聞いている。

【安心・安全に関すること】

- Q：調布保谷線が開通したことにより、生活道路の交通量が多く非常に危険である。
- A：保谷朝霞線を整備することによりしっかりとした通行空間が確保され、安全面でも非常に効果があると考えている。
- Q：平成27年8月に開通した調布保谷線では、この1年間で3件の人身事故が発生している。安全対策は大丈夫なのか。
- A：道路を計画する際には交通管理者である警察と、交通安全に配慮した道路の形状となるよう協議を行う。今後、詳細設計等を行う中で適宜協議を行い、安全に配慮した構造となるよう努める。
- Q：武野通りは小・中学生の通行が非常に多い。保谷朝霞線が武野通りの下を通る構造（アンダーパス）としてほしい。保谷朝霞線を整備する上で少なくとも子供が大きな事故に巻き込まれることがないように、対応していただきたい。
- A：道路を造る上で警察や小・中学校と協議を行っている。武野通りとの交差は現在、平面交差構造とすることを検討しており、アンダーパス構造とすることは難しいと考えている。今後、道路の形が定まった段階で再度協議し、安全面にも配慮してまいりたい。

【事業費に関すること】

- Q：全線整備に係る事業費を教えてください。
- A：今後予定している用地測量や物件調査を行わないと事業費は明確にならないため、現時点では分からないが、一般的に県が保谷朝霞線のような事業を行う場合、1kmあたり100億円程度の事業費を見込む。ただし、この金額は市街地を通った場合の一般的な想定である。保谷朝霞線の一部区間が市街化調整区域を通過することや、関越自動車道、一般国道254号との交差は、大規模構造物の整備が見込まれる。事業費の詳細は今後の作業を経て分かるものである。
- Q：新座市の負担はあるのか。
- A：おおまかな事業費の内訳は、国からの補助金を除いた、残りの4/5が県、1/5が市の負担となる。

【スケジュールに関すること】

- Q：都市計画変更後、事業認可、用地測量にどの位の期間を要するのか。もう少し詳細なスケジュールを教えてください。
- A：具体的な期間はお示しできないが、都市計画変更後、順次、作業を行えるよう準備をしていきたい。

【補償に関すること】

Q：用地買収に係る引っ越し等の時期はいつ頃になるのか。

A：現時点では明示できないが、今後、都市計画の変更、事業認可の取得、用地測量、物件調査・土地評価等を順次実施し、用地取得に向けた個別の交渉の中で決定させていただくことになる。

【新座市への質問】

Q：市はこの事業に賛成なのか。もう少し市と県が協力してやってほしい。

A：保谷朝霞線は4車線・27mが必要であると認識しており、県としっかりタッグを組んで進めてまいりたい。

【その他意見】

- ・道路を造ることで安全も保たれる、ぜひ早く造ってもらいたい。
- ・事業を進めるなら進める、だめならだめではっきりしてほしい。
- ・こんな時代錯誤の道路は必要ない。
- ・関越自動車道と交差するところにインターチェンジを造ってほしい。